報道資料

奈良市
NARA CITY Old History, New Discovery.

日付	令和 8 年 11 月 20 日（金）
担当課	文化振興課
電話番号	0742-34-4942

Press release

「東アジア文化都市 2016 奈良市」10 周年。「古都祝奈良（ことほぐなら）の時空旅行」開催・続報！

すべてのプログラムが集結する週末。いよいよコア期間！
展示 3 作品を全て観覧できるのは 23 日（月）まで



奈良市では 2026 年 11 月 7 日（土）～29 日（日）に、“時間が重なり合う都市「奈良」”を舞台に、市民とアーティスト、来場者がともに、過去・現在・未来を巡り体験するアートプロジェクト「古都祝奈良の時空旅行　アートを巡り 時代と出会う」を市内各会場で開催します。**新たな情報を継続して、お届けしていきます。**

この週末はコア期間。すべてのプログラムが集結します。また、展示 3 作品が観覧できるのは、ついに 11 月 23 日（月）までとなりました。

＜新着情報＞

■コア期間の事業を一挙に紹介！

- **【舞台芸術部門】まちなか舞台／青少年と創る演劇 Lite**
- **【美術部門】古都祝奈良の学校**
- **【美術部門】グリーン・マウンテン・カレッジ**

■展示 3 会場を全て観覧できるのは 11 月 23 日（月・祝）まで。新たな作品写真を公開

■インフォメーションカードを集めてゲット！黒缶バッジをプレゼント！

■コア期間の事業を一挙に紹介！

「古都祝奈良の時空旅行」のコア期間は 11 月 21 日（土）～23 日（月・祝）の 3 日間。ついに舞台芸術部門と美術部門のプログラムが本番を迎えます。

・【舞台芸術部門】まちなか舞台／青少年と創る演劇 Lite

劇場を飛び出し、奈良のまちが舞台となる「まちなか舞台」。公募で集まった舞台芸術の個人・団体の皆さんが、市民や観光客の行き交う場所で、ショーケース形式の公演を行います。**『今ならこれ奈良』をテーマに、中高生からベテランまで、多彩な公演を披露します。**1 日目は、居合と殺陣の演舞とカホンのコラボ／一人芝居／アカペラミュージカル風の演劇。2 日目は、マンドリン弾き語り＆オリジナル紙芝居／演劇の他、2016 年の東アジア文化都市から続く「青少年と創る演劇」（※2016 年当時は「高校生と創る演劇」）の Lite 版をお届けします。

日時：2026 年 11 月 22 日（日）～23 日（月・祝）
10:00～11:15、13:00～14:15、15:30～16:45 の 3 回公演（各終了時刻は目安）
会場：近鉄奈良駅前行基広場（奈良市東向中町２９）



ディレクター：田上豊氏
劇作家・演出家、劇団田上パル主宰。

見どころ：

「青少年と創る演劇 Lite」では、劇作家・演出家の田上豊氏の演出・指導の元、公募で集まった中高生 4 名等が、オリジナル短編作品に挑戦します。4 名それぞれの得意分野や個性をディレクターが引き出しながら、9 回の稽古を経て、観光客が多く行き交う行基広場で初めてパフォーマンス。「青少年と創る演劇」初の屋外公演に挑戦します！

・【美術部門】古都祝奈良の学校　古都を学ぶ。古都とつくる。

2024 年秋に始まった 3 年間のプログラム「古都祝奈良の学校」。ついに 3 年目の最終年を迎えます。

1 年目は 7 組のアーティストが、奈良でリサーチ滞在＆プランの発表を、2 年目は 1 日限定の学校を開校し、参加者との対話から生まれたキーワードをもとに「古都祝奈良の学校 教科書 0 号」を発行しました。

そして 3 年目。担任 小山田徹氏と、副担任 藤浩志氏とともに、ならまちの散歩や対話、お茶の時間等を通して、参加者が「自分なりの表現方法」を見つけ、古都ならではの新しい表現を探る「実践の日」の 2 日間を開校します。講師と参加者同士のアイデアエクスチェンジや作業を通して化学反応が起き、奈良での素敵な企画が生まれることが期待されます。

日時：2026 年 11 月 21 日（土）13 時 20 分～、11 月 22 日（日）10 時 30 分～

会場：奈良市ならまちセンター（奈良市東寺林町 38）1 階コトナラボ、ならまち界隈

※事前申込制のため、参加は既に締切。







担任：小山田　徹氏
美術家／京都市立芸術大学学長

副担任：藤　浩志氏
美術家／秋田公立美術大学客員教授・名誉教授。NPO 法人アーツセンターあきた理事長

ポイント：

アートを生業とされている方、そうでない方等 20 人以上が参加。20 代～70 代以上の方まで、幅広い世代の方の応募がありました。奈良市内外で既に活動されている方や、何かを始めてみたいと思っている方等が、ならまちを散策し、講師や参加者同士の意見に耳を傾けながら、集まった人々で新たな企画が生まれる場を創出します。

・【美術部門】グリーン・マウンテン・カレッジ　第 2 回

小さな火を囲みながらゲストのトークを聞き、そして互いに対話する「学び合いの場」。2018 年から続き、今年で 9 年目。発案者・カレッジ校長の小山田徹氏がゲストを迎えて対談。対談後には、参加者を交えた「火」を囲む学び合いの時間となります。大きなティピーテントもならまちセンターの芝生広場に出現。今年のテーマは「シェアと新しい豊かさ」。

日時：2026 年 11 月 22 日（日）18 時〜20 時　※古都祝奈良の学校の 5 限目として開校

会場：奈良市ならまちセンター（奈良市東寺林町 38）芝生広場





第 2 回ゲスト：齋藤　博史氏



1984 年神奈川県生まれ。香川県在住。カフェ店主、薬剤師。
東日本大震災をきっかけに、2016 年神奈川県から香川県へ移住。
2019 年より週末カフェ「サイトウコーヒー」を始める。
値段がつく前の食材を集めて無料で軽食を提供する「縁食会」や、身の回りの物をみんなで修繕する「修繕とコーヒー」などを開催。
種を繋ぎながら野菜や米づくり、仲間と大豆栽培など、小さな循環を意識した場作りに取り組む。

■展示 3 会場を全て観覧できるのは 11 月 23 日（月・祝）まで。

新たな作品写真を公開！

11 月 14 日（土）から 3 会場全ての展示が始まりましたが、このコア期間で東大寺観音院の作品は会期が終了します。これまで公開してこなかった新たな作品の写真をご紹介します。東大寺観音院や北山十八間戸等、この期間を逃すとめったに入れない施設にもぜひご注目ください。デジタルスタンプラリーがコンプリートできるのも 23 日まで。

（写真はいずれもクレジット要「撮影：Kenryou Gu」）

●キムスージャ氏「Meta-Painting」

会場：東大寺観音院（奈良市雑司町）

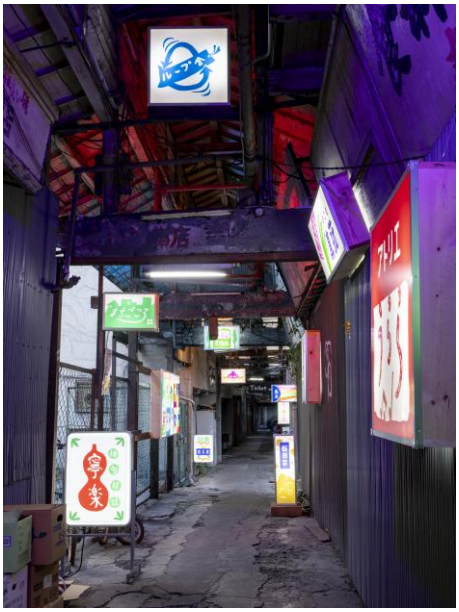
JR 奈良駅・近鉄奈良駅からバス「東大寺大仏殿・春日大社前」下車、徒歩約 15 分





●中﨑透氏「看板屋なかざき」

会場：椿井市場（奈良市椿井町 5）近鉄奈良駅より南へ徒歩約 5 分





●顧剣亨氏「湖は日々変わる Everyday the Lake Changes」

会場：北山十八間戸（奈良市川上町 454）

JR 奈良駅・近鉄奈良駅からバス「今在家」または「東之阪町」下車、徒歩約 5 分







※北山十八間戸・東大寺観音院については、付近に駐車場が少ないため、できるだけ公共交通機関でお越しください。

■インフォメーションカードを集めてゲット！

黒缶バッジをプレゼント！



11 月 15 日（日）の東アジア国際シンポジウムにお越しくださった方限定の缶バッジ（黒）のプレゼントキャンペーンを新たに始めました。

展示 3 会場にそれぞれに置いている「インフォメーションカード」3 色中 2 色以上を集めていただき、



12 月 5 日（日）のグリーン・マウンテン・カレッジでご提示いただくと、オリジナル缶バッジ（黒）をゲットできます。

シンポジウムにお越しいただけなかった方も、展示会場を再度回って、ぜひゲットしてみてください。